

集落ぐるみで取り組む鳥獣被害対策

1 要旨

熊毛郡平生町尾国地区は、山口県東南部の室津半島に位置し瀬戸内海に面した地域で、従来から水稻を中心とした農業が行われている。

平成 30 年ごろからイノシシによる農作物の食害や畦畔、耕土の掘り返しの被害が発生していたが、対策は個々の農家の取り組みが主体となっていた。

このため、集落ぐるみにより当該事業に取り組むことになった。

一方、当集落では、高齢化や人口減少により、侵入防護柵等を設置した後の管理やメンテナンスの簡素化を図ることも課題として取り組みを進めた。

2 地区の概要

地 区 名	熊毛郡平生町尾国地区
主 な 作 物	水稻・ミカン
加 害 獣 種	イノシシ
対策実施年度	令和 3 年度



3 被害の状況と課題

被害が深刻な状況にあるにもかかわらず、個別ほ場で行う電気柵やワイヤーメッシュ柵の設置による防護にとどまっており「地域ぐるみ活動」になっていない。

集落の外周にある繁茂した竹林や雑木林からイノシシが侵入しており、イノシシの侵入経路を塞ぐ防護柵の整備が必要。

4 取組内容

(1) 計画策定

令和 2 年 3 月からワイヤーメッシュ柵の設置の検討を開始し、集落を囲む道沿いに設置する計画で同年 7 月の集落総会で承認。

(2) 集落環境調査

同年 8 月に集落の代表、J A、県など関係者による集落環境調査、ワイヤーメッシュ柵設置ルートの踏査を実施。

(3) 柵設置作業方法・手順に関する研修

先進的に取組んでいる山口市仁保地区において設置作業の研修を実施。

(4) 地区住民の合意形成

地区住民の合意形成のため「イノシシ防護柵工事(案)の説明」を作成し、集落全体に回覧。計画を一部変更して合意を得る。

(5) 対策の実施

ほ場だけを囲うのではなく道沿い、集落全体を環状に取り囲む方式で道沿いに設置



集落環境調査結果



柵設置方法等研修状況



町道沿い設置状況

5 取組の成果

- 集落環境調査により、鳥獣被害対策に対する意識が高まった。
- 対策を実施したことで、当該年度からイノシシによる被害が減少しており、今後も継続的に被害の軽減が期待される。

【被害額】

(千円)

区分	事業 実施前	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		実績	増減	実績	増減	実績	増減
イノシシ	147	138	▲9	64	▲83	－	－

6 地区代表者のコメント

従来から個人が主体で被害対策を行ってきたが、地図情報の作成まで行ったことで集落関係者の意識が高まった。

それを踏まえた対策によりイノシシの被害が減少したことを実感している。

道沿いに防護柵を設置することにより、防護柵の点検、管理が容易になった。

7 今後の取組

集落全体を環状に囲む方式による防護柵の設置の効果を検証し、近隣地区も含めた広域的な鳥獣被害防止対策に波及させる。